

酒タバコ煙草更値上げ法案粉碎 肉タバコを口実とした治安立法制定案拒絶 政府の低文教政策打破 当局の管理強化と対決 市大文費値上げ阻止 文教予算市大広

当工団の管理強化は
会館南争の成果のとり
つぎに、

全市大の学生諸君、今春期
斗わたり会館斗争は、22日の
岩崎国交で勝利的位置を回
た。我々は会館の内容におい
て、設置規定の変更を武器に
一切の当局の屈服を許さず
学生の使用制限の撤廃、市内
者の無料原則を認めさせた。
更に今後、予算の大幅拡大を
確認させた。

この意味は、カエに市内施
設からの学生排除、受給者
負担原則を許さぬことにより
学生を単なる施設の使用者に
おとめんとする当局の意図
を粉碎し、更に協議協会の設
立により他占の介入に止め
をかけたことである。カエの
成果は、我々の正当な要求に
もとづく正しい前進が学生
と教授会の協力を生み出し、
市内の力関係の大きな転換を
もたらした事である。カエの
成果は、この闘いの中で作り
上げた自由連帯を中心とし
る学生の一は、当局として
我々の前に出ざるを得なくし
更にこれに、管理強化と闘つ
時の我々の大きな武器となる
自治組織の確立へ大きく前進
している事である。

総じて、会館斗争は市大の
管理強化を許さぬ闘いとして
巨大な成果を挙げた。

市大の「暴力対策」項目

が会館の設置規定が変更
れた同じ目に出されている
事に端的に示されている様
に、我々の闘いの前進に恐
怖する市長と市大本部に
よる巻き返し攻撃であり、
ら項目の内容は、まさしく
暴力団に名前をかりたウラ
ス、サークル活動の圧殺で
ある。

我々の手とを
り、管理強化
によっては何も
解決しない！

「よりよいまち、質のいい
市町村を作る」という問題
意識の下に、独占に奉仕す
る人材の養成、独占のため
の研究費を、しかも、商
一市における傾斜配分によ
る財政諸弊によって行われ
んとする政府の国家独占資
本主義的教育政策は、様々
びきりと暴露されている。
我々はこの天井知らずの値
上げとそれにとりつてマス
プロ教育の強化等による教
育条件の破壊は、「私学を
杆」を生み出す、教育内容

9.29
私学訴訟勝利
総決起集会
60 中 公 堂

の無占の私物にはさきの当然の不满を呼び起した。これが68と69 客に長き時の反動期である。この國會提出の改正案に就いては、
 年の全國的では、國會の滿意である。
 いる。

これに対し、政府側は、その回議提議に「一言をのぞく」ではなく、「大會議場提議案」の制定により、村縣蔵をきりに入れ、幕府・政府双方の大衆改革の更なる強化による担當よりなりきとして（主眼に押し）必ずしもよくて回議を「解決」したものである。

しかし、さき諸君が回議は一印懸たれといふ。それは、早く如く、上巻の「自由主義」とも通じた明治天皇親政への期待からして、市中のもの（6回書、取込のサリトマセ）Aに二事件とて（十三）にそれらを通じて、財政機構の強化の下に大衆の負擔を軽減するの動向人民への大衆の口を開けず、元知知らずの強固な値を押し進めんとするものがある。

上げぬ、回議は一層深刻化している。

――

中々上に上げぬ、今の財政が硬直化している時、この硬直化の時

[illegible]

主へのうつろひと自治会サークルの
 統一した陣いと市町村との連帯
 のより管理強化をはね返し51年
 度から多量値上げを阻止しよう
 と奮闘する。

らんとする。故に社會主義と年々企業の間で持たざるを得

とする。然るに批判政策が、輿論の側面から、大衆側面、下層生
業を生み出し、一般社会を占めるに至る。この結果として、輿論は

量先封策として、厚く入りしに、
4才を況封策々を出した。し

かし、その不_レ対_二策_一も、この本_レ書は、一_レ点の、本_レ四_二葉_一、高_レ張

自動車道建設の丁度アロニウトと、作下の、福世、之致す

寧寧は、受立商賈担による重なる系血縁により、兼り印やんと

するものである。銑鋼の直上には、 γ と δ とがある。物直上には、 δ と γ とがある。

は、すゝた舞然しはじのまあり、酒々バロ、舞種の手空の国言

提出、私鉄運営の値上げ、公営住宅の値上げは、勤労者の生活支

社會的に破壊せらるゝ。それに加へての全國七五〇萬に直には

は、大空の山から雲が人の手を長くひいて降るものとなつて

このお通達の中、立ち上がらんとする人々に對しては、

新嘉坡金蘭同

好評発売中!

新時代

64号

其に因らん。